委員会活動報告

材料試験技術委員会
≪活動報告及び活動計画≫



委員長　松本 大　株式会社フューチュアテック　代表取締役社長

材料試験技術委員会は専門別に活動する分科会活動を中心に各分科会が連携を取り下記①～⑤を行う委員会です。

① 分科会活動の成果及び予定の審議と指示
② 材料試験に係るJIS規格及びISO規格の見直し、改正及び新規規格化案件に対する委員派遣や意見の審議と指示
③ 当工業会が作成を担当するJIS規格の見直し、改正及び原案作成、並びに審議本委員会の開催
④ 当工業会が作成を担当したJIS規格についてのユーザーからの質問・意見への対応
⑤ 当工業会が主催するイベントのセミナー検討及び講師派遣

また、毎年9月～10月に開催されるISO/TC164（金属の機械試験）の国際会議には複数の委員が出席し、材料試験にかかわるISO規格の改訂及び新規格制定に積極的に関わっております。今年の国際会議は9月20日～24日の日程でケニアのナイロビで開催される予定です。

他に本委員会では機関誌「TEST」への試験技術に関わる基礎講座や規格情報の執筆、並びに当工業会主催の材料試験・環境試験基礎研修会やTEST展でのセミナー対応もしております。

その他に環境装置技術委員会との合同会議や研修会並びに各地の工業関連施設の見学も実施しております。

専門別に活動する分科会の前年度活動報告と今年度活動計画は次の通りです。

分科会名称／分科会長	昨年度活動報告及び本年度活動計画
静的強度試験分科会 分科会長： 小林　悠亮（東京衡機試験機） 副分科会長： 畠山　友博（富士試験機製作所） 岡村　健（島津製作所）	【昨年度報告】 昨年度はJIS規格改正の作業は特にありませんでしたが、JIS規格改正に関わるISO規格の改訂状況の把握に努めました。また、7月に開催された材料試験・環境試験基礎研修会及び9月に開催されたTEST展基礎セミナーで一軸試験についてのセミナー講師も担当しました。 その他に、9月には静的強度試験分科会の委員2名がフランスのパリで開催となったISO TC164/SC1 WG4（一軸試験）国際会議へ出席をしました。 【今年度計画】 今年度は、昨年度に引き続きJIS規格の改正準備としてJIS B 7721「引張試験機・圧縮試験機 −力計測系の校正方法及び検証方法」の対応国際規格ISO 7500-1の改定状況の把握、並びにJIS B 7728「一軸試験機の検証に使用する力計の校正方法」の対応国際規格ISO 376の改定状況の把握を計画しています。 また7月開催予定の基礎セミナーの講師を担当する予定です。 その他に、今年9月にケニアのナイロビで開催予定のISO TC164/SC1 WG4（一軸試験）国際会議へ出席する予定です。
硬さ試験分科会 分科会長： 松本　大（フューチュアテック） 副分科会長： 川添　勝（ミツトヨ）	【昨年度報告】 2年前に開始したJIS B 7726［ロックウェル硬さ試験-試験機の検証］及びJIS B 7730『ロックウェル硬さ試験-基準片の校正』の改正について引き続き内容の検討を行いました。 昨年度だけで5回の分科会開催及び3回の本委員会開催の後、最後に書面審議を経て2026年1月に成果物を日本規格協会に納品しました。また7月に開催された材料試験・環境試験基礎研修会及び9月に開催されたTEST展基礎セミナーで硬さ試験についてのセミナー講師を担当しました。 その他、一軸試験分科会と同様にフランスのパリで開催されたISO TC164/SC3（硬さ試験）国際会議に委員1名が出席しました。 【今年度計画】 今年度は、JIS規格改正作業の予定はありませんが、JIS B 7725「ビッカース硬さ試験機の検証及び校正」、JIS B 7735「ビッカース硬さ基準片の校正」、JIS B 7724「ブリネル硬さ試験機の検証及び校正」、JIS B 7736「ブリネル硬さ基準片の校正」の4規格についてそれぞれ対応する国際規格ISO 6507-2、ISO 6507-3、ISO 6506-2、ISO 6506-3の改訂作業が行われる予定なのでその内容の把握及びJIS規格の改正準備を進めてまいります。 また、7月開催予定の材料試験・環境試験基礎セミナーの硬さ試験についてのセミナー講師を担当する予定です。 その他に、9月にケニアのナイロビで開催予定のISO TC164/SC3（硬さ試験）国際会議へ出席する予定です。
疲れ・靱性試験分科会 分科会長： 岩永　幸満（島津製作所） 副分科会長： 平畝　英司（米倉製作所） 松原　毅（東洋精機製作所）	【昨年度報告】 昨年度はJISの改正作業は特にありませんでしたが、シャルピー衝撃試験機についてISO 148-1、ISO 148-2、及びISO 148-3の改正内容の確認を行いました。そして他の疲れ・靭性試験に関連するISO規格の改訂動向を注視してまいりました。 また、9月にフランスのパリで開催となったISO TC164/SC4 WG4 WG5 WG6（疲労試験）国際会議へ1名の委員が出席しました。 その他に、7月に開催された材料試験・環境試験基礎研修会及び9月に開催されたTEST展基礎セミナーで疲労試験及び高分子試験についてのセミナー講師を担当しました。 【今年度計画】 今年度は昨年度に引き続きシャルピー衝撃試験機についてISO 148-2、ISO 148-3及び他の疲れ・靭性試験に関連するISO規格の改訂動向を注視してまいります。 また、7月開催予定の材料試験・環境試験基礎セミナーの硬さ試験についてのセミナー講師を担当する予定です。 その他、9月にケニアのナイロビで開催予定のISO TC164/SC4 WG4 WG5 WG6（疲労試験）国際会議に出席する予定です。 そしてシャルピー衝撃試験調査WGの活動、及び材料学会高温強度部門委員会／疲労部門委員会との連携を継続してまいります。
校正分科会 分科会長： 尾崎　達也（井谷衡機製作所） 副分科会長： 眞弓　高明（島津製作所）	【昨年度報告】 日誌工が実施している技能試験に関わる品質システムについて年次のマネジメントレビューを実施しました。 また、JCSS校正に係わる下記の技能試験の実施、集計、及び報告をしました。 ・JTM-H015 硬さ区分：硬さ基準片　（参加者4事業者） ・JTM-H016 硬さ区分：硬さ試験機　（参加者16事業者） その他に定年開催している力学量標準トレーサビリティワークショップは6月6日に秋葉原UDX（東京）にて開催されました（参加者数：208名）。 【今年度計画】 今年度は、JIS Q 17043の改正に伴い品質システムマニュアル及び品質方針の改訂を行います。 また、下記の技能試験の実施を予定しています。 ・JTM-F006　力区分：一軸試験機　JIS B 7721による方法 併せて来年度に予定されているビッカース硬さ試験の技能試験について内容の検討及び実施の準備を行ってまいります。 その他に、今年度の第26回力学量標準トレサ―ビリティ・ワークショップは2026年6月5日に名古屋の名古屋国際センターにて開催いたします。